

Dementia Japan 投稿規定

本誌は認知症研究に関する投稿論文（原著，総説，症例報告，レター）および特集，その他編集委員会が適当と認めたものを掲載する。言語は日本語（または英語）とする。採択された論文は掲載号出版と並行してオンライン出版する。オンライン出版へのリンクは日本認知症学会ホームページを参照のこと。

第 26 巻 2 号（平成 24 年春発行）以降はカラー図・写真を著者負担なしで掲載する。

【投稿資格】

投稿論文の責任著者は日本認知症学会の会員に限る。会員でない場合は速やかに入会の手続きをとること。なお，国外の研究者からの投稿については編集委員会において審議する。

必ず著者全員が投稿前に論文を精読し，共著者となることを了解していること。

【利益相反（COI）申告】

論文の全著者は，本学会が定めた様式に従って，投稿する年の前年（1～12月）を対象として利益相反（COI）申告をしなければならない。

- ・ 論文の責任著者は，投稿の時点で，全著者の利益相反（COI）申告をとりまとめて提出する。
- ・ 利益相反申告様式は学会ホームページからダウンロードするか（学会誌投稿規定のページ：<http://dementia.umin.jp/kitei.html>，利益相反の項），あるいは事務局に FAX で送付申込みをすること。全著者がこの COI 申告様式にもとづいて申告を行い（記入方法は様式に記載），責任著者は全著者の COI 申告をとりまとめて記入，署名捺印をして封筒に入れ，封をする。その封筒の表に「利益相反申告書」と書き，さらに筆頭著者名，投稿論文題名も同様に封筒に表書きして，投稿原稿に同封し，学会誌編集委員長宛て（論文投稿先）に送付する。
- ・ 論文が受理され，印刷される時は論文末尾にてこの COI 申告を開示する。
- ・ 提出された COI 申告書は 2 年間保存された後，破棄される。
- ・ この規定は平成 26 年 4 月 1 日以降の投稿より適用される。

【投稿方法】

投稿論文（原著，総説，症例報告，レター）は，紙投稿の場合はオリジナル 1 部，コピー 2 部（レターの場合はコピーも 1 部）を編集委員長宛てに送付する。写真のコピーには写真品質のものを使用し，普通紙の（カラー）コピー機によるものは受け付けない。原稿は A4 用紙に 10.5～12 ポイントの文字で印字し，行間は 1.5～2 行，余白は上下左右とも 2.5 cm とする。タイトルページから連続したページ番号をふる。表や図・写真は 1 枚ごとに別の用紙に印刷し，引用順に番号を付ける。なお，紙投稿の場合であっても採択後は必ず，テキスト部分（タイトルページ，論文要旨，英文抄録，本文，文献，表）を電子投稿（下記）に準じてコンピュータ・ファイルとして送付すること。

電子投稿の場合は，テキスト部分（本文，表など）は Microsoft Word 2003[®]／2007[®]／2010[®] 文書ファイルもしくは RTF 形式ファイルとし，図・写真等は 1 枚ごとに BMP，非圧縮 TIFF（Windows か Mac かを明記）あるいは PSD（Adobe Photoshop[®]）画像ファイルとする。JPEG ファイルおよび

Microsoft PowerPoint 2003[®]／2007[®]／2010[®] のファイルも受け付けるが、データ圧縮による画質低下が生じないように十分な注意を払うこと（写真の場合は、PowerPoint スライドに貼らず、画像ファイル形式のまま送付すること）。表については Microsoft Excel 2003[®]／2007[®]／2010[®] のファイルとしても良い。いずれもわかりやすいファイル名をつけて、CD-R/RW、DVD-R または MO（MO のメディア・サイズは最大 640 MB まで、Windows のみ）に保存し、文書、表、図・写真ともに必ずプリントアウトを 1 部添付して、編集委員長宛に送付する。電子メールの添付ファイルとしての投稿も受け付けるが、その場合は PDF も併せて送るとともに、必ず、文書、表、図・写真のプリントアウトを必ず別途送付すること。

受理された原稿は返却しないので、著者は別にコピーを一部保管する。

※なお、本学会は Dementia に相当する語として、従来用いられていた「痴呆」にかわり「認知症」を使用することとする。本誌への投稿には歴史的な記述でやむを得ない場合を除き、必ず「認知症」を使うこと。

【投稿論文送付先】

日本認知症学会誌編集委員長
日本認知症学会事務局
〒 169-0072 東京都新宿区大久保 2 丁目 4 番地 12 号
新宿ラムダックスビル (株) 春恒社 内
FAX : 03-5291-2176
e-mail : jsdr-office01@shunkosha.com

【査読】

投稿された原著・総説・症例報告は 2 名の、レターは 1 名の査読者による報告に基づいて編集委員長が採否を決定する。査読は編集委員、または編集委員会で適当と判断された本学会員に依頼する。

【生命倫理の尊重】

本誌に投稿する論文は動物実験、臨床研究のいずれにおいても生命倫理に十分な配慮がなされたものであること。

【投稿形式別事項】

(1) 原著

原著論文は認知症に関する未発表の臨床的あるいは基礎的研究結果に限る。他誌に投稿中の論文は受理しない。英文も受け付けるが、投稿前に必ず英文チェックを受けること。刷り上がりで 10 ページ（下記「刷り上がりページ数の目安」を参考にする）を超える場合は、超えた分について実費を徴収する。

原稿は、① タイトルページ、② 論文要旨（300 字以内、英文の場合 200 語以内の Abstract）、③ 英文抄録（200 語以内、本文が英文の場合は不要）、④ 本文、⑤ 文献、⑥ 表、⑦ 図・写真の説明、⑧ 図・写真の順とする。謝辞は本文の最後につける。

① タイトルページには著者全員の氏名と所属・住所、責任著者の連絡先と、表、図・写真の枚数を記載する。タイトル、著者名、所属、住所、連絡先は日本語と英語の両方で記載する。

④ 本文は、はじめに (Introduction), 方法と対象・材料 (Materials and Methods), 結果 (Results), 考察 (Discussion) の順に、分けて記載する。本文が日本語の場合、文献名、人名、地名、化学名などで日本語として日常化していないものは原語を用い半角とする。数量は C.G.S. 単位により半角欧字で表し、数字と単位の間は 1 半角スペースあける。ただし、℃、% の場合はあけない。α、β、γ などは本文が日本語の場合は全角 JIS フォントを、本文が英文の場合は symbol フォントを使用する。薬品名は一般名を原則とし、必要なときだけ商品名を付記する。なお、一般の外国語単語の頭文字は、文章の最初、固有名詞、およびドイツ語名詞を除き全て小文字にする。句読点コンマ (,)、ピリオド (.) を使用する。

⑤ 文献の引用は「雑誌」では著者名、(西暦発行年)、題名、雑誌名、巻数、通巻頁数の始めと終わりを、「単行本」では著者名、(西暦発行年)、書名、発行書店名、発行地名を、「共著の単行本」では著者名、(西暦発行年)、題名、書名(編集者名)、頁数の始めと終わり、発行書店名、発行地名を記載する。著者名、および編者名は、日本語の場合には姓名を、外国語の場合には姓と名のイニシャルを記載する。文献は、著者名の ABC 順とし、本文中の引用箇所には(姓、年)をいれる。著者が 2 名のときは (A, B, 年) または (A & B, year), 3 名以上のときは (A ら, 年) または (A et al., year) とする。同一著者の同一年の論文は (1998a), (1998b) とする。雑誌名の省略の仕方は PubMed/Index Medicus のスタイルに準拠する。コンマ、ピリオドの省略については下記例を参照のこと。なお、外国語、数字は半角とし、コンマ、ピリオド、コロン、セミコロンの後は 1 半角スペースあける。

Alzheimer A (1911) Über eigenartige Krankheitsfälle des späteren Alters. Z Ges Neurol Psychiatr 4: 356-385

Whitehouse PJ, Price DL, Clark AW, Coyle JT, DeLong MR (1981) Alzheimer disease: Evidence for selective loss of cholinergic neurons in the nucleus basalis. Ann Neurol 10: 122-126

石井 毅(1983) アルツハイマー病 星和書店, 東京

Tomlinson BE, Corsellis JAN (1984) Ageing and the dementias. In: Greenfield's Neuropathology 4th ed (Adams JH, Corsellis JAN and Dechen LW ed) pp 951-1025, Edward Arnold, London

吉田伸一, 伊藤 高, 浅野孝雄, 佐野圭司, 久保田 勝, 島崎弘之(1980) 実験的虚血による脳内遊離脂肪酸の変動と脳保護剤の効果. 脳神経 32: 931-939

⑥ 表やその説明, ⑦ 図・写真の説明, ⑧ 図・写真の中の語には本文の言語にかかわらず英語を使用する。表, 図・写真には本文を参照しなくてもそれらを理解するために十分な説明をつける。表の説明は表の下に, 図・写真の説明は別紙に記載する。

⑥⑧ 表, 図・写真は, そのまま製版できるような鮮明なもので, 20 cm×14 cm 以内の大きさとし, 裏面に番号と筆頭著者名を記載し, 上下を明記する。全ての表, 図・写真を本文中で参照する。

(2) 総説

本誌は認知症研究の推進に役立つ知識の整理, 新しい考え方の紹介や仮説の提唱などを目的とした総説(他誌に未発表のもの, 投稿中でないもの)の投稿を歓迎する。原稿の構成(要旨, 英文抄録など), 表, 図・写真, 引用文献等については原著の規定に準ずるが, 本文の書き方は著者の自由とする。項目ごとにサブタイトルをつけるなど, わかりやすい書き方が望まれる。刷り上がりで 15 ペー

ジ（下記「刷り上がりページ数の目安」を参考にする）を超える場合は印刷実費を徴収する。

(3) 症例報告

本誌は認知症性疾患の症例報告を歓迎する。未発表の（他誌に投稿中でない）ものに限る。英文によるものも受け付けるが、投稿前に必ず英文チェックを受けること。刷り上がりで6ページ（下記「刷り上がりページ数の目安」を参考にする）を超える場合は、超えた分について印刷実費を徴収する。

原稿は、① タイトルページ、② 論文要旨（200字以内、英文の場合100語以内）、③ 英文抄録（200語以内、本文が英文の場合は不要）、④ 本文、⑤ 文献、⑥ 表、⑦ 図・写真の説明、⑧ 図・写真の順とする。謝辞は本文の最後につける。タイトルページ、表、図・写真、引用文献等については原著の規定に準ずる。

(4) レター

認知症研究における重要な研究成果の発表等に対する意見を800字以内（英数字は2文字で1字と計算、英文の場合は300語以内）のレターとして投稿することができる。引用文献は5件以内とし、原著の規定に準じて記載する。

【刷り上がりページ数の目安】

1ページ当たり、日本語1,600字、英語550語、文献20件をおよその目安として計算すること。

【著作権・出版権】

本学会誌に掲載された論文の著作権・出版権は、日本認知症学会に帰属する。その全部または一部を無断で他誌（紙）に掲載してはならない。

【校正】

著者校正は1回のみとし、校正刷り受け取り後必ず5日以内に返送する。

【掲載料・別刷料等】

論文掲載は原則として無料とするが、刷り上がりページ数が規定（上記）を超える分については印刷実費を徴収する。

別刷は原著・総説・症例報告、トピックスについては20部を無料進呈する。それ以上の別刷は希望部数（50部単位）により実費を徴収する。レター、学会印象記は別刷を作成しない。

【編集委員（◎編集委員長）】

秋山治彦、朝田 隆、荒井啓行、◎新井平伊、池田 学、岩坪 威、浦上克哉、西道隆臣、高島明彦、長田 乾、羽生春夫、前田 潔、森島真帆